

流域貯留施設（校庭貯留）

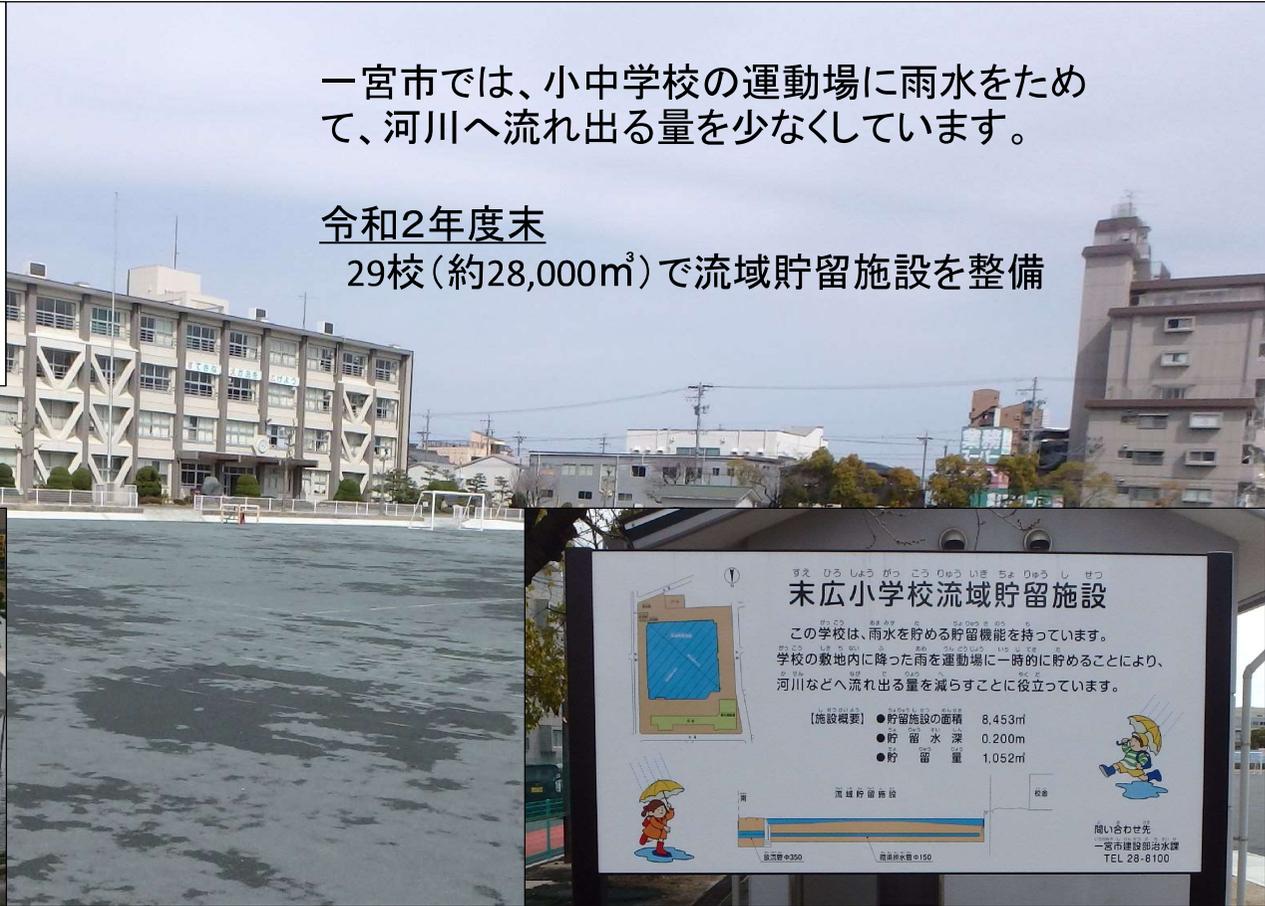
一宮市



一宮市では、小中学校の運動場に雨水をためて、河川へ流れ出る量を少なくしています。

令和2年度末

29校(約28,000m³)で流域貯留施設を整備



ま え ひ る し ょ う が っ こ う り ゐ ゃ い さ ち ゃ り ゐ ゃ し せ つ
末広小学校流域貯留施設

この学校は、雨水を貯める貯留機能を持っています。
 学校の敷地内に降った雨を運動場に一時的に貯めることにより、
 河川などへ流れ出る量を減らすことに役立っています。

【施設概要】

- 貯留施設の面積 8,453m²
- 貯留水深 0.200m
- 貯留量 1,052m³

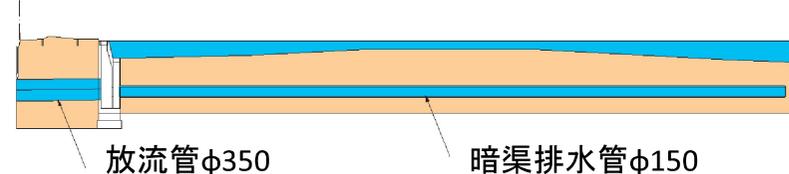
流域貯留施設

放流管φ350 暗渠排水管φ150

問い合わせ先
 一宮市建設部治水課
 TEL 28-8100



流域貯留施設標準断面図



伝法寺調整池

■施設概要

竣工年 平成26年

貯留量 約42,000m³

通常時 水路調整池から自然排水

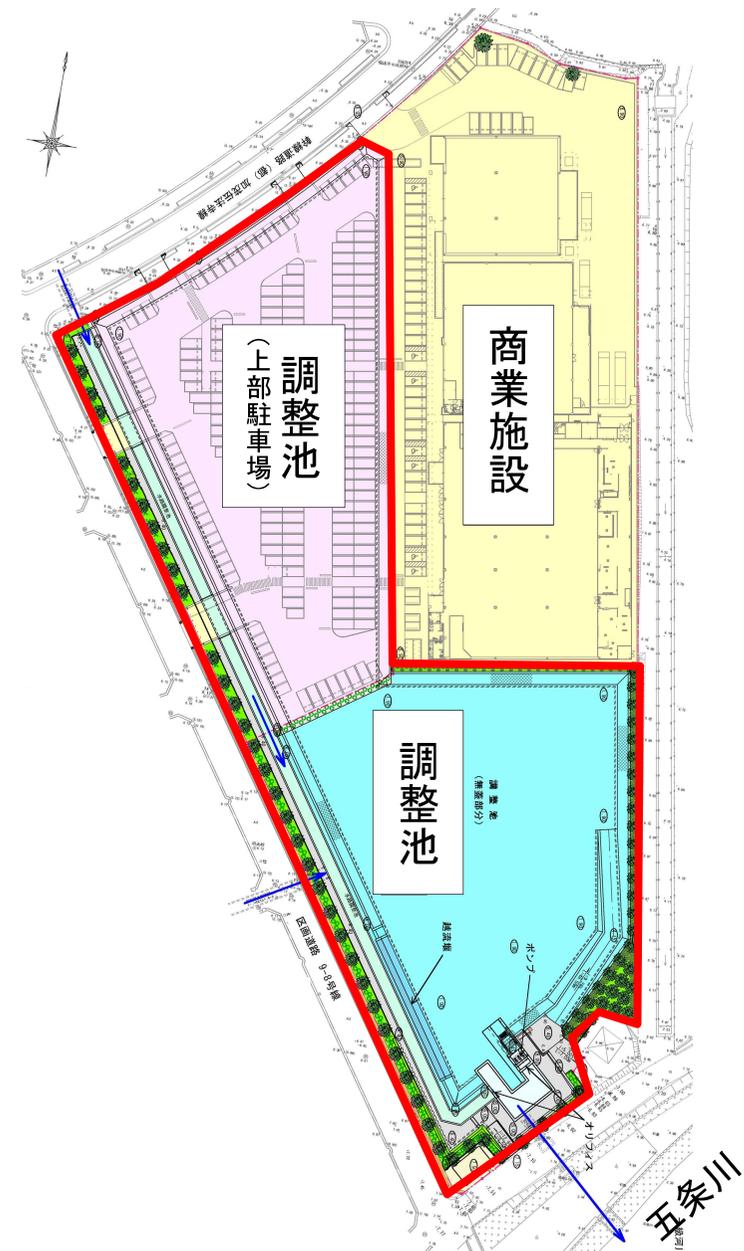
豪雨時 水路調整池の越流堰から調整池へ流入

■特色

民間事業者と連携し調整池を整備

上部は民間事業者が活用（駐車場）

※災害時は、民間事業者が避難場所として提供



一宮市では、雨水貯留浸透施設を設置される方に、工事費の3/4を補助しています。

